

ならちゅうしん経営研究会 例会報告  
第 375 回 研究会（長野視察研修）

日 時 令和 6 年 5 月 24 日(金) ～ 令和 6 年 5 月 25 日(土)

場 所 県外視察 長野県諏訪市

内 容 1 日目 5 月 24 日(金)

1. 視察 株式会社スギムラ精工 つるみね工場  
(長野県岡谷市川岸上 3 丁目 1 番 1 号)  
金属プレス加工及び金属プレス用金型の製作
2. 見学 SUWA ガラスの里  
(長野県諏訪市豊田 2400-7)
3. 異業種交流会 RAKO 華乃井ホテル 宴会場  
諏訪信用金庫、すわしんユースクラブ・ビジネスクラブ

2 日目 5 月 25 日(土)

4. 参拝 諏訪大社下社秋宮  
(長野県諏訪郡下諏訪町 2828)
5. 見学 株式会社豊島屋  
(長野県岡谷市本町 3 丁目 9-1)  
酒類製造販売(日本酒)

今年度の視察研修は、期初の計画通り、長野県への視察研修を実施しました。

(長野県について)

長野県は本州のほぼ中央に位置し、周囲を 8 つの県に囲まれた海に面さない内陸県です。面積は 47 都道府県の中で第 4 位と広く、別名である「信州」の名でも親しまれています。人口は 1, 991, 977 人（2024 年 4 月 1 日現在）で、総面積のおよそ 84% を山地帯が占めています。県内には日本アルプスと呼ばれる 3 つの山脈（飛騨山脈・赤石山脈・木曾山脈）が南北に連なり、3000m 級の山々がいくつも並ぶその光景は「日本のやね」と称されるほど雄大です。

長野県は農業の盛んな県（特に野菜、果物、花づくりは全国トップクラス）でもありますが、戦前は製糸王国として知られており、戦後は諏訪・岡谷地区を中心にカメラ・腕時計・オルゴール等の精密機械工業が発達したほか、電気・運送用機械関連の企業も各地に定着しました。

(株式会社 スギムラ精工 つるみね工場 視察)

1日目5月24日、最初の視察先として、株式会社スギムラ精工つるみね工場を訪問させて頂きました。スギムラ精工は、金属製品のプレス加工技術において優れた技術力を持った企業で、エンジン・モーター部品やパワーステアリング部品など自動車関連部品をはじめ、家電・AV機器関連部品、建材関連部品などを製造されています。

冒頭、社長の杉村様より当社の経営理念や、会社概要、事業内容についてご講演を頂きました。当社の強みは、プレス加工においてプレス機と並んで最も重要な要素のひとつである金型を加工から組込みまで一貫して内製化していることに加え、塑性理論に基づいた独自技術『KCF工法』の開発により、従来は他工法で製造していた部品をより生産性の高いプレス加工に置き換えるなど、工数・コストの削減、部品の高機能化に対応した高難度部品の生産を可能にしていることです。このほか、組織力に欠かせない『人』を大切にしておられ、会社の業績を可能な限り所得に反映、社内にある食堂では昨今の物価高の影響を受けているにも関わらずメニューの価格を380円に据え置くなど、従業員が少しでも満足いく環境で仕事に臨めるよう努めておられます。結果、平均年齢は38歳と若く、人材不足の昨今においてもロコミや紹介で採用を維持できています。

その後、工場内を案内頂き、プレス成型機から、NC旋盤などの量産工作機械、そして品質保持の要となる検査工程と、当社の強みである一貫生産体制の流れに沿って見学させて頂きました。最後に意見交換会を実施し、生産管理や人材採用、従業員の幸福度向上など活発な意見交換が行われました。



杉村社長 ご挨拶



つるみね工場 見学

(諏訪信用金庫『すわしんユースクラブ・ビジネスクラブ』との異業種交流会)

1日目5月24日の夜は、諏訪信用金庫取引企業で構成される“すわしんユースクラブ・ビジネスクラブ”との異業種交流会を行いました。“すわしんユースクラブ・ビジネスクラブ”は、経営者としての資質を高めるとともに、異業種間の交流を通じて相互の発展を図ることを目的に活動されており、約320名が加入、50歳までがユースクラブ、満50歳からはビジネスクラブの会員となります。交流会には、ユースクラブ会長の三澤郁馬氏（税理士法人三澤会計\_代表社員・所長）の他6名の会員企業様と、諏

訪信用金庫会長の今井氏、同信金ビジネスサポート部長の奥山氏にご参加頂きました。

芳仲会長・今井会長のご挨拶にはじまり、参加者全員よりの自社の事業や商品、取り組みについてのスピーチがあり、終始活発な意見交換・交流に大いに盛り上がりました。



芳仲会長 ご挨拶



今井会長 ご挨拶

(諏訪大社 下社秋宮 参拝)

2日目5月25日の午前には、諏訪大社下社秋宮を参拝しました。諏訪大社は諏訪湖の南に位置する上社（前宮と本宮）と下社（春宮と秋宮）の2社4宮で構成される、全国に1万社余りある諏訪神社の総本社です。創建は古く、古事記の国譲り神話までさかのぼり、最も古い神社のひとつとされています。

ご祭神は、出雲大社に祀られている大国主命(おおくにぬしのみこと)の第二子神である建御命方神(たけみなかたのかみ)とその妃神である八坂刀売神(やさかとのめのかみ)で、下社ではさらに建御命方神の御兄神である八重事代主(やえことしろぬし)も祀られています。建御命方神は「諏訪明神」や「お諏訪さま」として親しまれ、古くは風・水を司る五穀豊穰を祈る神として、中世には武勇の神、軍神として坂上田村麻呂や源頼朝、武田信玄、徳川家康などの武将から崇拝されてきました。現在は、生命の根源・生活の源を守る神として崇敬されています。



諏訪大社 下社秋宮



神楽殿前 集合写真

(株式会社 豊島屋 酒蔵開き見学)

2日目5月25日の午前、続けて、株式会社 豊島屋の酒蔵開きを見学させていただきました。当社は、慶応3年(1867年)初代 林新一郎氏により創業。以来、150年以上に亘り「笑顔のみえるこだわりの地酒」をテーマに、極寒の地信州諏訪の平(岡谷市)で全量長野県産米にこだわり酒造りに向き合っておられます。代表銘柄のひとつ「神渡(みわたり)」は、世界の自然科学会にも注目される自然現象『御神渡(おみわたり)』から命名されたお酒であり、地元の方を中心に愛飲家から広く愛されています。

今回は、豊島屋資料館を見学し、「神渡」や「豊香」を試飲させていただきました。資料館には、創業当時の帳場のほか、酒造道具、酒器、甲冑類が展示されています。甲冑については、戦後、莫大な財産税に苦しんだ旧華族(大名家)が旧蔵した書画骨董を納税のため相次いで手放してしまう中で、当社四代目の新一郎氏が、特に甲冑の海外流出を憂い「いくらかでも日本に留めなければ」と蒐集したものを展示しているそうです。



豊島屋資料館\_甲冑



酒蔵開き

(まとめ)

長野県は産業構造が多様であり、農業、工業、観光業などが主要な柱となっています。農業では、りんごやぶどうなどの果物が有名であり、高品質な農産物が生産されています。特に信州りんごは国内外で高い評価を受けており、このほか野菜や花卉なども盛んに生産されています。工業は、自動車産業や電機製品の製造が盛んで、トヨタ自動車や日立製作所が進出しており、県内総生産の約3分の1を占めます。今回訪れた諏訪地域は「東洋のスイス」と呼ばれ精密機械や電子産業が盛んな地域です。

今回視察させていただきましたスギムラ精工さんは、物との対話を重んじ常に挑戦による真実の追及を怠らない、そのために社員一人ひとりが安心して仕事に取り組むことができる環境づくりを心がけ、そこから生み出される“産生技術”と“世界最高峰”の設備により自然や社会、顧客に貢献できる企業＝塑性加工の世界リーダーを目指しておられました。『常に原点を忘れず、日々努力し成長を続け、たとえ小粒でも一目置かれる企業であり続けたい』という想いで事業に向き合われるその姿勢には、大変な感銘を受け

ました。

また、“すわしんユースクラブ・ビジネスクラブ”との異業種交流会では経営者の皆様が非常に前向きに事業に取り組んでおられ、皆さん明るく友好的な経営者の方ばかりでした。そして諏訪信用金庫様が地域と一体となって地元の産業振興をサポートされていること等、非常に学び多い視察研修となりました。

最後に、諏訪信用金庫の今井会長、ビジネスサポート部の奥山部長をはじめ役職員の皆様、そしてすわしんユースクラブ・ビジネスクラブの皆様、視察にご協力頂きました企業の皆様のご好意により、充実した視察研修となりましたことを深く感謝申し上げます。



集合写真 諏訪大社 下社秋宮にて